研究所だより
67号 2025. 11. 28

せんじょうち

発行/編集
黒部川扇状地研究所
Tel/Fax　0765-72-0013
E-mail senjochi@milale.ne.jp

11/8(土) 令和7年度 秋季研究例会 開催

研究発表：トンボの羽から世界へ

入善西中学校２年生の笹島浩聖さんに、小学校１年生から継続して取り組んでいるトンボの研究について、研究成果を発表していただきました。笹島さんは、今年 Green Blue Education Forum 2025 で環境大臣賞を受賞され、８月に大阪・関西万博で発表もしておられます。当日は、ギンヤンマの飛ぶ速さが時速 50 kmであることや、アキアカネの羽の模様に三角形や四角形・五角形があることを見付け、五角形が多いと速く飛べることが分かったと報告されました。参加者からは、今後の研究に大いに期待したいとの声が聞かれました。

これまでの研究成果を発表する笹島さん

調査報告：黒部川源流調査Ⅱ

黒部川源流域の絶景

今回の調査について報告する上島研究員

昨年度に引き続き、８月に行われた２回目の黒部川源流調査について上島俊晴研究員による報告が行われました。源流域への山行はかなり厳しいものがありますが、手つかずの豊かな自然やバスクリングリーンの美しい水面などすばらしい景観が待っていることや、源流域の水質を調査したことなど、たくさんの写真やデータが紹介されました。

講演：水田農業の将来像を考える

今回の講演は、富山県副知事の佐藤一絵氏を講師にお迎えして行われました。佐藤副知事は、就任される前は農林水産省にお勤めになっておられ、そのご経験から日本の農業の現状や問題点、人口減少社会における米政策、水田中心の富山県農業の未来等について、丁寧かつ具体的に説明してくださいました。参加者からは、「今、特に関心が高い米作りの問題についての現実を知り、考えさせられました。」「日本一美しいと言ってくださった水田風景が守られるためにも、若い世代の生産者が増える政策が望まれると思います。」「副知事ご在任の間に『努力が報われる制度』の構築に取り組んでいただけるようお願いします。」などの感想・意見が聞かれました。

今後の農業政策について語る佐藤副知事

10/4（土）　かがんぽしいの里の農業体験（収穫祭）

親子でわら細工

みんなでクッキング

今江地区で取り組まれた無農薬・有機栽培の新米の収穫祭をうるおい館で行いました。ご飯やお汁が出来上がる間に、親子でわら細工にも取り組みました。お昼には、炊きたてのご飯の塩むすび、栗ご飯、具沢山で熱々の豚汁を味わいました。春の田植え、夏の草取り、秋の稲刈りと農作業をして収穫できたお米の味は格別でした。

10/10（金）扇状地探訪ウォーク②　扇状地左岸湧水巡りコース

今年度２回目の扇状地探訪ウォークは、王生透研究員にガイドをしていただき、黒部川左岸の生地地区で行いました。地区に点在している、弘法・岩瀬家・神明町・中島・殿様・絹などの清水を巡り、水部会による水質調査も行いました。生地地区は右岸の入善町と異なり、共同の洗い場などに利用されていました。前名寺では、寺の由来や地域の歴史について住職様のお話を聞き、庭の清水も見学させていただきました。最後に海岸沿いを歩き、生地鼻灯台に登って眺望を楽しむこともできました。

岩瀬家の清水で水質調査

天神様ゆかりの前名寺

生地鼻灯台

11/10（月）所員研修　庄川扇状地・砺波散居村

庄川合口ダム

名水百選瓜裂清水

閑乗寺公園にて

今年度の所員研修は、庄川扇状地・砺波散居村の巡検を行いました。あいにくの雨天でしたが、となみ散居村ミュージアム、（安念館長の解説）、松川除、庄川合口ダム、庄川水記念公園、瓜裂清水、閑乗寺公園（散居村眺望）、小牧ダムなどを巡り、黒部川扇状地との共通点や相違点を実際に見学することができました。お昼には庄川の子持鮎の御膳を味わい、充実した研修を行うことができました。

11/21（金）扇状地カフェ②　黒部川扇状地右岸の野鳥について

～沢スギ林、墓ノ木自然公園、黒部川河口の観察から～

扇状地カフェの２回目は、うるおい館で動植物部会の伊林早苗・本瀬薫・石原裕美研究員が９年間継続して行ってきた野鳥の観察の調査結果を報告することをメインに実施されました。参加者には夕食が提供され、飲み物を飲みながら気軽に報告を聞いていただきました。そして、黒部川扇状地の豊かな環境と、この環境を守っていくことの大切さを共有することができました。

９年間の調査結果を報告

熱心に耳を傾ける参加者の皆さん